門 司 税 関

九州経済圏貿易統計のポイントについて
（ 令 和 ８ 年 10 月 分 : 速 報 ）

＜対世界＞

〇輸出総額:1 兆 2,591 億円（伸率:＋14.3%） ⇒ 7か月連続のプラス

・順位:1 位

【順位は、昭和 54（1979）年 1 月以降（574 か月、10 月は 48 か月）による。以下同じ。】

・増加品目:自動車（同＋20.8%）、半導体等製造装置（同＋43.8%）

〇輸入総額:1 兆 718 億円（伸率:＋22.7%） ⇒ 5か月連続のプラス

・順位:8 位、10 月としては 2 位

・増加品目:原粗油（同＋21.6%）、液化天然ガス（同 2.9 倍）

〇差引額:1,873 億円（伸率:▲17.9%） ⇒ 21か月連続の輸出超過

・順位:44 位、10 月としては 6 位

為替レート: 2026 年 10 月:157.84 円/ドル（2025 年 10 月:149.51 円/ドルと比べ 5.6%の円安）

＜品目別動向＞

〇輸出

自動車（2,987 億円→3,610 億円、伸率:＋20.8%）は、EU（154 億円→602 億円、同 3.9 倍）及びアメリカ（679 億円→1,061 億円、同＋56.2%）向けが増加し、3か月ぶりのプラスとなった。

また、半導体等製造装置（744 億円→1,070 億円、同＋43.8%）は、中国（173 億円→416 億円、同 2.4 倍）及び韓国（367 億円→424 億円、同＋15.6%）向けが増加し、8か月連続のプラスとなった。

一方、銅及び同合金（258 億円→214 億円、同▲17.2%）は、中国（82 億円→38 億円、同▲54.2%）及びインド（75 億円→40 億円、同▲46.3%）向けが減少し、10か月ぶりのマイナスとなった。

〇輸入

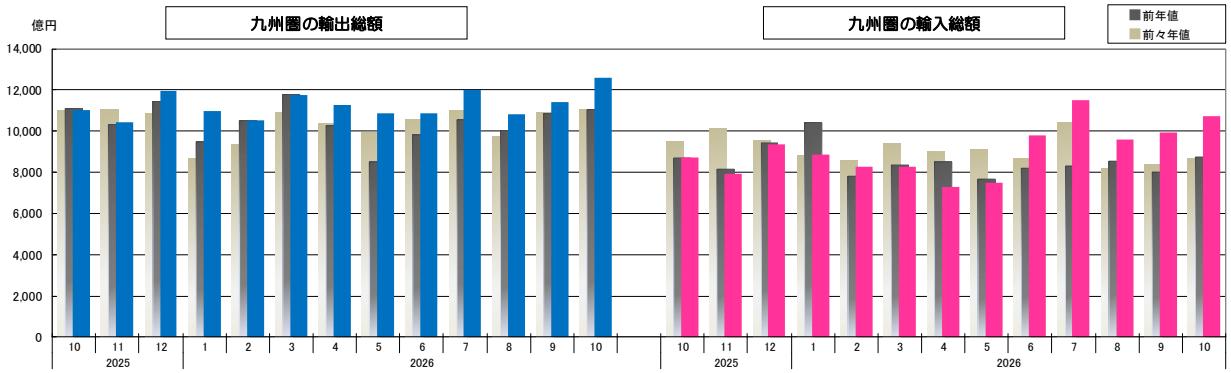
原粗油（1,653 億円→2,010 億円、同＋21.6%）は、クウェート（195 億円→384 億円、同＋96.4%）及びオマーン（実績なし→178 億円）からが増加し、4か月連続のプラスとなった。

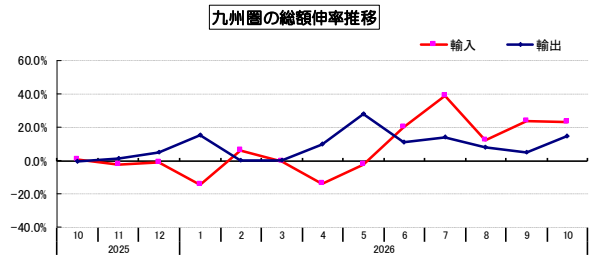
また、液化天然ガス（177 億円→514 億円、同 2.9 倍）は、オーストラリア（98 億円→340 億円、同 3.5 倍）及びロシア（実績なし→81 億円）からが増加し、4か月連続のプラスとなった。

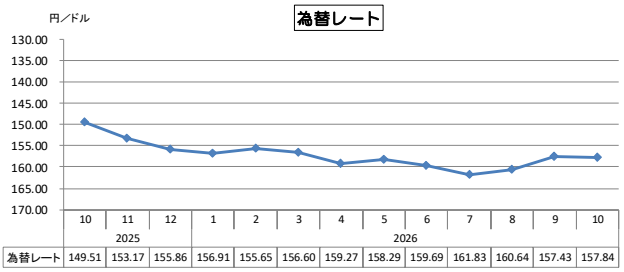
一方、航空機類（364 億円→7 億円、同▲98.2%）は、アメリカ（363 億円→1 億円、同▲99.7%）からが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

令　和　８　年　１０　月　分　：　速　報







	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	2025			2026									
為替レート	149.51	153.17	155.86	156.91	155.65	156.60	159.27	158.29	159.69	161.83	160.64	157.43	157.84

九州圏 の輸出主要品目推移



九州圏 の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。